

ちよちよ

あけましておめでとうございませう。今年も一年、社会福祉法人愛知育児院、特別養護老人ホーム南山の郷と南山の郷おしらせ新聞「ちよちよ」をよろしくお願ひします。

去年は皆さまにとってどのような一年になったでしょうか。南山の郷では年末に開かれる「年忘れ会」で共に一年を振り返り、クリスマスやお餅つきで年末の食事を楽しみ、新しい年を迎えました。

年が明けてからは、順番に初詣に出掛けられたり、お節料理を楽しまれたり、初釜に参加されたりとお正月を楽しまれています。親族の皆様でのご面会も多く、賑やかでありながら穏やかな時間を過ごされておりました。

先月おしらせしましたように南山の郷では改修工事が始まっており、未だ改修の途中です。冬が過ぎ春が訪れるころには工事も終わる予定です。今年のふれあいまつりの頃には生まれ変わった南山の郷の姿をお見せできることでしょうか。



1月

みなさまの声を受けて

先日、南山の郷の食事について貴重なご意見を頂きました。
「食事の時、職員の方が忙しそう。人手が足りないのでは？」
残念ながら直接お話を伺えなかった為、どのような場面でそのように感じられたのかはわかりません。人手については、南山の郷では国基準の3対1(3人の利用者に対して一人の職員の配置)に対して、2対1で対応しています。しかしながら交代勤務の為、実際の生活場面で2人に対して1人がついてお世話ができるということではありません。反面、食事のお世話が必要になる方は増えていくのが現状です。食事もゆったりとした風景とは言えないかと思えます。

このことは私たちも課題に感じていて、昨年末から試みていることがあります。それは、一斉に食事開始するのではなく、時差で少しでもゆっくりと召し上がって頂くことです。一人の職員の介助の人数を少なくし、目が行き届く様目指しています。まだまだ慣れず、問題は山積みですが、今後も施設全体で取組んでいきたいと思っておりますので、温かく見守って頂けますと幸いです。

先月の行事

クリスマスが近づくと各グループではそれぞれおやつ作りとしてクリスマスイメージしたデザートを作りました。どれも華やかで美味しく出来上がっていました。



年末の一大行事、年忘れ会が開かれました。職員のフラダンスやギター演奏、ボランティアの方とご利用者様による聖歌隊などが披露されました。練習を重ねた演目はどれも大変好評でした。

